

第5回定時総会議事録

1. 開催年月日及び時刻 令和元年6月16日(日) 15時15分～17時30分

2. 開催場所 千葉市中央コミュニティーセンター6階 ホール

3. 出席者数

会員総数 410名(平成31年3月31日付)

出席者数 243名(内訳：本日出席者 77名、書面表決者および表決委任者 166名)

4. 書記 重城星紗(社会福祉法人うぐいす会)

5. 議長の選任及び議事録署名人に関する事項

定刻に至り事務局より開会を宣言し、本日の会員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長の選任を諮った。事務局より成田地域生活支援センター佐々木氏を推薦し、満場一致を持って選任された。続いて、議長より挨拶の後、議長から議事録署名人を指名したい旨を述べた。全員異議なく賛成したため、議長は服部地域福祉事務所服部明氏及び齋藤仁事務所齋藤世津子氏を議事録署名人として指名した。その後、議案の審議に入った。

6. 審判事項

第1号議案について 平成30年度事業報告

第2号議案について 平成30年度決算

第3号議案について 令和元年度事業計画

第4号議案について 災害対策計画

第5号議案について 令和元年度予算

第6号議案について 令和元年度役員体制

7. 議事の経過の概要及び議決の結果

第1号議案について

この議案について、各事務局より説明が行われ、その後山崎会長より補足が加えられた。

議長が会場からの質問を求めたところ、千葉県精神保健福祉士協議会で実施している、心のふれあいフェスティバル・心の健康フェア・地域移行セミナーなど一般市民向け活動について、一般市民が参加しにくいように感じる。何か改善していく可能性はあるかとの意見が上がった。事務局より、心の健康フェアの集客率に関しては毎年課題に上がり検討している。今年度より代表が変わるなど体制が変わるので再度検討していくとの回答。地域移行セミナーに関しては、地域移行から地域包括ケアシステムへと少しずつ変化していく中で、ピアサポーターの活躍もあり、時代に合わせつつ変えていく必要があると思っているとの回答があった。

その他会場より、病院部会と千葉県精神科作業療法研究会(以下、作業療法研究会)との合同研修については、作業療法研究会のみで11月に開催したという報告あり。また、厚生労働大臣表彰を受けた近藤氏の祝賀会を、有志で行っても良いのではという意見があり、山崎会長より検討しますとの回答。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：240票、反対：0票、保留：3票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第2号議案について

平成30年度決算について会計担当の岩下理事及び顧問税理士である片岡税理士より説明が行われた。会費が上がったことに加え、納入状況の確認書を今までより多く配送したことで会費納入率は向上。しかし、配送料や手間も多くかかっているため今後継続的に実施していきけるかは検討中。納入状況について事務局へ確認しやすいような整備を検討していく必要があるとの報告があった。その後、豊田監事より業務監査・会計監査についておおむね問題はないが、領収書がコピーや名前の記載が無いものがあったため改善を指示した。速やかに対処していただけたので、問題はないとの報告があった。

議長が会場からの質問を求めたところ、予算の中に事務局統合準備金があると思うが、現実的に実現可能であるのかとの質問が上がった。事務局より、ハード面の問題もあり現時点で具体的な構想はまだお伝えできないが、事務局業務を分担している現状の中で会員の皆様にご迷惑をかけていることもあるので、時期は未定であるものの統合または事務局を置くなどの検討はしていきたいとの回答があった。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：241票、反対：0票、保留：2票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第3号議案について

この議案について、事務局より説明が行われた。山崎会長より、催促状を出しても意思表示が無いため15名が強制退会になってしまった。納入しやすいようにコンビニ払い等も検討しているが、小さな団体でどこまでできるか難しい現状があると補足説明。

議長が会場からの質問を求めたところ、委員会が充実してきているのは感じるが、協会全体として大きなテーマが必要ではないか？8050や高齢者問題、虐待問題にもぜひ取り組んで欲しいとの要望が上がった。事務局より、理事会でもテーマについて検討はしているが、現時点では全体的なテーマを決めずに各委員会でやっていく方針である。また、8050問題や虐待について、協会として集約できるか難しさはあるが、このような問題にも取り組んでいきたいとの回答があった。

役員の兼務が多く負担が大きいと思うが、役員の負担をどのように軽減・解消できるのか検討して欲しい。また、各委員会の役員について、現状は知り合いや人づてが多いと思うが、公募にするなど若い人たちが活躍できる場を作って欲しいとの意見が上がった。事務局より、税理士に入ってもらい業務もスムーズになってきたが、次世代への引継ぎも検討しているため、組織の再編成をする時期であると思うとの回答。

その他会場より意見として、外国人労働者が今後増える中で、文化に合わないなどの理由から精神保健福祉士分野の対象として外国の方も今後増えてくると思うので、その点についても目配りしていく必要がある。若い人へのアプローチとして作業療法士協会では、今の時期に新人対象としてオリエンテーションを開催し、協会の説明および懇親会をおこない横のつながりを作る機会を設けている。議案書の書き方について、具体的に誰が何をするのかが分かりにくいいため、P97の研修委員会のような書式で統

一してもらえると分かりやすい。との意見が挙げられた。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：240票、反対：1票、保留：2票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第4号議案について

この議案について、事務局より説明が行われた。

議長が会場からの質問を求めたところ、実際に他団体との連携はどの程度進んでいるのかと質問が上がった。事務局より千葉県では遠隔地の協定がないのが現状である。県として災害派遣チームというのは組んでおらず、これからの課題であり、実際に支援に行けるような連携をしていけるように努めていきたいとの回答が得られた。

その他、災害ボランティア受け入れ等も各地でおこなっているが、そのような活動に参加する予定の有無について質問が上がリ、事務局より勝浦市で開催の情報は入っていたが、他の団体を受け入れるキャパが無いとのことで参加できず。今後も協会として参加するかは不明であるとの回答が得られた。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：240票、反対：0票、保留：3票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第5号議案について

この議案について、岩下理事から説明が行われた。

議長が会場からの質問を求めたところ、会場より質問はなかった。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：239票、反対：1票、保留：3票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第6号議案について

この議案について、山崎会長から説明が行われた。

議長がこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

賛成：239票、反対：0票、保留：4票

となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

8. 閉会

議長は以上を持って、本日の議事を終了したことを述べ、17時30分閉会宣言をした。

以上、この議事録が正確であることを証する。